

(仮称) 信州大学新学部誘致推進協議会設立趣意書

現在の社会は、人口減少・少子高齢化社会の進行、世界的な気候変動と頻発する集中豪雨や災害の発生、新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済・社会的活動の停滞、デジタル・情報化技術の加速度的発展等、克服すべき様々な課題が存在し、これまでに経験したことのない速度で社会が変容していく只中にあります。当地域においては、近い将来に開通するリニア中央新幹線によって、首都圏、中京圏との時間的距離が飛躍的に短縮され、世界各地へのアクセスも向上するなど、私たちの暮らしが大きく変化する時代がすぐそこまで近づいてきています。

このような中、2021年10月1日、国立大学法人信州大学の中村宗一郎新学長が就任に当たり会見で「新しい学問領域に挑戦し、これからの時代を担うデジタル人材を育成する新学部の創設を検討する」と言及されたのを受け、飯田・下伊那地域への信州大学の新学部設置に向けた誘致活動を、官民一体となり、地域が一致団結して行っていきたく思います。これは、高等学校卒業後に大学等の高等教育機関に進学する若者の多くが地域を離れざるを得ない今日までの状況が、地域の将来を考える上で大きな障害となっており、4年制大学の設置を悲願としてきた当地域にとって千載一遇の好機であり、リニア中央新幹線開通と併せて地域の明るい未来を描き、実現するための希望の光となるものです。

信州大学の新学部構想は、デジタル・情報化技術が加速する今日の社会変化の中で、時代の要請に応えそれを牽引するデジタル人材の育成を目指すものと聞いており、大学の持つ、世界的研究・教育拠点、高度専門職業人養成、地域貢献・産官学連携・国際交流等の社会貢献といった機能が、当地域の学びの力と結びつくことによる「知の拠点」の形成を期待するとともに、地域の若者が地元に残り、ここで暮らしながら大学に進学することができるだけでなく、全国からそれを目指す若者を呼び寄せることにもなり、そうした学生や研究者がこの地に暮らすことによる地域経済への影響は計り知れないものがあると期待されます。また、産官学連携による新しい時代に向けた産業振興策は、基盤産業となった精密機械工業や航空・宇宙関連産業に止まらず、新しい大学の専門的な知見や高度専門人材を活かし、研究機関等の誘致から新産業育成へと繋がり、発展することが期待されます。このように大学の設置はリニア時代を見据えたまちづくりや産業育成と親和性が高く、この地域に多くの可能性をもたらします。

大きく変革する社会に対応し活躍するデジタル人材を育成するとされる信州大学の新学部を飯田・下伊那地域に設置し、リニア時代におけるまちづくりの中核として大学を据え、これを活かして新たな価値を創造することは、産官学が一体となって取り組む、この地域らしい未来の創造につながると同時に、国が提唱する地方創生の具体化であり、「スーパーメガリージョン構想」や「ナレッジリンク（知の集積）構想」に沿うもので、県土の均衡ある発展を目指す長野県の南の玄関口として、長野県やこの地域、ここに学部を設置する信州大学が、日本全国、全世界に対して存在感を示す絶好のチャンスになるものと考え、信州大学新学部の飯田・下伊那地域への設置実現に向けて、地域住民、産業界、金融機関、行政等が一丸となり、ここに信州大学新学部誘致推進協議会を設置します。

令和3年12月22日

設立発起人

南信州広域連合長（飯田市長）	佐藤 健
下伊那郡町村会長（豊丘村長）	下平 喜隆
飯田商工会議所会頭	原 勉
長野県経営者協会飯田支部長	木下 博隆
長野県商工会連合会南信州支部長	堀 政 則
長野県中小企業団体中央会下伊那支部長	中 田 教 一

（裏面につづく）

設立発起人（つづき）

みなみ信州農業協同組合代表理事組合長	寺 沢 寿 男
飯田信用金庫理事長	小 池 貞 志
南信州・飯田産業センター理事長	佐 藤 健
飯田水引協同組合理事長	岩 原 克 典
南信州食品産業協議会長	加 藤 昇
飯伊凍豆腐組合会長	木 下 博 隆
南信州工業会長	野 沢 稔 弘
飯田電子工業会長	川 手 清 彦
飯田市金融団代表幹事	北 山 良 一
飯田漬物協会会長	稲 垣 勝 俊
飯田下伊那菓子組合理事長	手 塚 宏 行
飯田クラフト協会会長	小 國 慎 治
南信縫製組合長	市 瀬 和 繁
飯田印刷工業組合長	吉 澤 和 人
下伊那園芸農業協同組合代表理事組合長	伊 藤 俊 一
長野県建設業協会飯田支部長	北 沢 資 謹
飯田建設事業協同組合理事長	北 沢 資 謹
一般社団法人飯伊建築業協会会長	長 坂 亘 治
飯田建設業クラブ会長	長 坂 亘 治
長野県土木施工管理技士会飯田支部長	棚 田 稔
一般社団法人飯田青年会議所理事長	小 林 大 悟
飯田商工会議所青年部会長	菅 沼 文 昭
しんきん若手経営者の会（SYMS）会長	古 田 誠
飯田市女性団体連絡協議会長	西 塚 洋 子
飯田商工会議所女性会長	佐々木 玲 子